

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第3区分
 【発行日】平成22年7月15日(2010.7.15)

【公表番号】特表2009-540066(P2009-540066A)
 【公表日】平成21年11月19日(2009.11.19)
 【年通号数】公開・登録公報2009-046
 【出願番号】特願2009-514609(P2009-514609)
 【国際特許分類】

C 1 1 B 9/00 (2006.01)
 C 0 7 C 49/255 (2006.01)
 C 0 7 C 69/738 (2006.01)
 C 0 7 C 233/09 (2006.01)
 C 0 7 C 49/84 (2006.01)
 C 0 7 C 69/593 (2006.01)
 A 6 1 K 8/37 (2006.01)
 A 6 1 K 8/35 (2006.01)
 A 6 1 K 8/42 (2006.01)
 A 6 1 Q 19/00 (2006.01)
 A 6 1 Q 13/00 (2006.01)
 C 0 7 C 67/343 (2006.01)
 C 0 7 C 45/72 (2006.01)

【 F I 】

C 1 1 B 9/00 Z
 C 0 7 C 49/255 C S P B
 C 0 7 C 69/738 Z
 C 0 7 C 233/09 Z
 C 0 7 C 49/84 C
 C 0 7 C 69/593
 C 1 1 B 9/00 L
 A 6 1 K 8/37
 A 6 1 K 8/35
 A 6 1 K 8/42
 A 6 1 Q 19/00
 A 6 1 Q 13/00 1 0 1
 C 0 7 C 67/343
 C 0 7 C 45/72
 C 1 1 B 9/00 J

【手続補正書】

【提出日】平成22年5月27日(2010.5.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

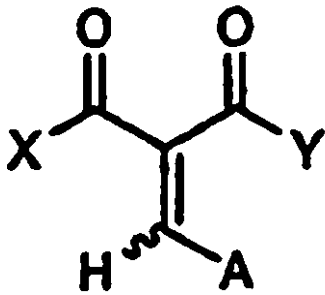
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

用品に芳香を付与する方法であって、少なくとも1つの式I

【化 1】



式中、

XおよびYは独立して、 $-CR^1R^2R^3$ 、 $-NR^4R^5$ および $-OR^6$ からなる群から選択され、ここで $R^1 \sim R^5$ は、Hおよび少なくとも1つの酸素、窒素またはケイ素原子を任意に含む本質的に炭化水素である部分から選択され、 R^6 は、少なくとも1つの酸素、窒素またはケイ素原子を任意に含む本質的に炭化水素である部分から選択され、およびAは、少なくとも1つの酸素、硫黄、窒素またはケイ素原子を任意に含む本質的に炭化水素である部分であり、ただし化合物A-CHOは芳香性アルデヒドである、
で表される化合物の添加を含む、前記方法。

【請求項 2】

部分Aが由来する芳香性アルデヒドが、2, 6, 10-トリメチルウンデカ-9-エナール、8, 8-ジメチル-1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8-オクタヒドロ-ナフタレン-2-カルバルデヒド、(4-イソプロピル-フェニル)-エタナール、2, 4-ジメチル-シクロヘキサ-3-エン-1-カルバルデヒド、1, 3, 5-トリメチル-シクロヘキサ-1-エン-4-カルバルデヒド、4-(4-ヒドロキシ-4-メチルペンチル)-シクロヘキサ-3-エン-1-カルバルデヒド、ヘキサ-2-エナール、3, 5, 5-トリメチル-ヘキサナール、ヘプタナール、2, 6-ジメチル-ヘプタ-5-エナール、デカナール、デカ-9-エナール、デカ-4-エン-1-アール、2-メチル-デカナール、ウンデカ-10-エン-1-アール、ウンデカナール、ドデカナール、2-メチル-ウンデカナール、トリデカナール、トリデカ-2-エナール、オクタナール、ノナナール、ノナ-2-エナール、ウンデカ-9-エナール、2-フェニル-プロパナール、2-(4-メチル-フェニル)-エタナール、3, 7-ジメチル-オクタナール、ジヒドロファルネサール、7-ヒドロキシ-3, 7-ジメチル-オクタナール、2, 6-ジメチル-オクタ-5-エン-1-アール、3-(3-イソプロピル-フェニル)-ブタナール、2-(3, 7-ジメチル-オクタ-6-エン-オキシ)-エタナール、4-(4-メチル-ペンタ-3-エニル)-シクロヘキサ-3-エン-1-カルバルデヒド、2, 3, 5, 5-テトラメチル-ヘキサナール、ロンギホルアルデヒド、2-メチル-4-(2, 6, 6-トリメチルシクロヘキサ-2-エン-1-イル)-ブタナール、2-メチル-3-(4-tert-ブチルフェニル)-プロパナール、3-(4-tert-ブチル-フェニル)-プロパナール、2-(4-イソプロピル-フェニル)-プロパナール、3-(ベンゾ[1, 3]ジオキソール-5-イル)-2-メチル-プロパナール、3, 7-ジメチル-オクタ-6-エン-1-アール、2-メチル-3-(4-イソプロピルフェニル)-プロパナール、4-tert-ブチル-シクロヘキサ-1-カルバルデヒド、4-(オクタヒドロ-4, 7-メタノ-5H-インデン-5-イリデン)-ブタナール、(3, 7-ジメチル-オクタ-6-エニルオキシ)-エタナール、(2E, 6Z)-ノナジエナール、2, 4-ジメチル-2, 6-ヘプタジエナール、(E)-デカ-2-エナール、ドデカ-2-エナール、3, 7-ジメチル-オクタ-2, 6-ジエナール、2, 4-ジエチル-ヘプタ-2, 6-ジエナール、3, 7-ジメチル-ノナ-2, 6-ジエナール、3-プロピル-ヘプタ-2-エナール、および4-イソプロピル-シクロヘキサ-1-エン-1-カルバルデヒドからなる群から選択される、請求項1に記載の方法。

【請求項 3】

フレグランスが湿気への曝露によって徐々に放出される芳香組成物の製造方法であって

(a) 式 I I

【化 2】



式中、XおよびYは独立して、 $-CR^1R^2R^3$ 、 $-NR^4R^5$ および $-OR^6$ からなる群から選択され、ここで $R^1 \sim R^5$ は、Hおよび少なくとも1つの酸素、窒素またはケイ素原子を任意に含む本質的に炭化水素である部分から選択され、 R^6 は、少なくとも1つの酸素、窒素またはケイ素原子を任意に含む本質的に炭化水素である部分から選択される

で表される化合物を、クネーフェナーゲル縮合が行われる条件下で塩基の存在下で芳香性アルデヒドと配合するステップ

および

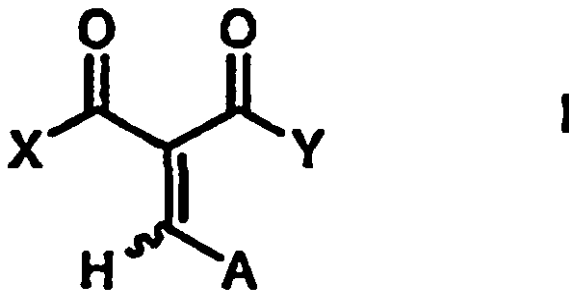
(b) (a) の生成物を組成物に添加するステップ

を含む、前記方法。

【請求項 4】

式 I

【化 3】



式中、

i) XおよびYは同じであり、

a) $-OR^6$ 、式中、 R^6 は、メチル、エチル、プロピル、イソプロピル、ブチル、イソブチル、t-ブチル、ベンジルからなる群から選択される；または

b) フェニル、メチル、エチル、プロピル、イソプロピル、ブチル、イソブチル；から選択されるか、あるいは

ii) XおよびYは異なり、以下の表

【表 1】

X	Y
Me	OMe, OEt, O- <i>i</i> Bu, O- <i>i</i> Pr, OBn, O- <i>cis</i> -3-ヘキセニル
Me	Et, Pr, Bu, Pent
Ph	OMe, OEt
2-(1-(3,3-ジメチル-シクロヘキシル)エトキシ	OEt

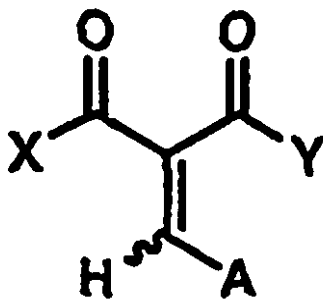
から選択され、および

A は、分枝状または直鎖状の C₇ ~ C₁₅ アルキルおよび C₇ ~ C₁₅ アルケニル部分から選択され、これらはエーテル、ヒドロキシル、カルボニルまたはエステル部分として存在する酸素原子を任意に含む、
で表される化合物。

【請求項 5】

既知の用品原料および少なくとも 1 つの式 I

【化 4】



式中、

X および Y は独立して、-CR¹R²R³、-NR⁴R⁵ および -OR⁶ からなる群から選択され、ここで R¹ ~ R⁵ は、H および少なくとも 1 つの酸素、窒素またはケイ素原子を任意に含む本質的に炭化水素である部分から選択され、R⁶ は、少なくとも 1 つの酸素、窒素またはケイ素原子を任意に含む本質的に炭化水素である部分から選択され、および A は、少なくとも 1 つの酸素、硫黄、窒素またはケイ素原子を任意に含む本質的に炭化水素である部分であり、ただし化合物 A - CHO は芳香性アルデヒドである、
で表される化合物を含む、用品。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0027

【補正方法】変更

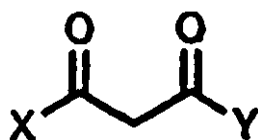
【補正の内容】

【0027】

本発明の特定の特色の 1 つは、上述のクネーフェナーゲル合成を使用する場合、化合物を製造工場で作り、ユーザーに輸送する必要がなく、その場で作ってもよいことである。

したがって、それらを単純かつ簡単に現場で作り、それらの存在が望ましい組成物に直接添加することができる。これは、豊富な多用途性を与え、ユーザーが、配達を待つことなく、現地で所望の化合物を作ることができる。したがって、本発明はまた、芳香組成物の製造方法を提供し、ここで、フレグランスは湿気への曝露によって徐々に放出され、該方法は、

(a) 式 I I
【化 7】



||

式中、XおよびYは上に定義したとおりである、
で表される化合物を、クネーフェナーゲル縮合が行われる条件下で塩基の存在下で芳香性アルデヒドと配合するステップ

および

(b) (a)の生成物を組成物に添加するステップを含む。